

各種サウンディング技術の液状化調査手法としての適用性に関する研究委員会

WG3：静的貫入試験 打合せ

平成25年度第2回 議事録

日 時	平成25年 6月11日 (火) 15:00～17:00			場 所	地盤工学会 3F小会議室			
リーダー	菊池 喜昭	○	幹事	平林 弘	○	委員	國生 剛治	×
委員	後藤 政昭	×	委員	須々田 幸治	×	委員	高田 徹	×
委員	谷本 俊輔	×	委員	西村 真二	○	委員	宮坂 亨明	×
委員	室山 拓生	×	委員	利藤 房男	○			

○：出席 ◎：代理出席 ×：欠席

配付資料

- 資料1 平成25年度第1回WG3議事録（案）
 資料2 論文リスト（2004年以降）

議事

- 平成25年度第1回議事録（案）の確認
 - 他には特に異論はなく、承認された。
- 論文リストの確認・Abstract作成分担
 - 2004年以降の論文リストおよび液状化に関する論文（抽出キーワード：液状化、相対密度、細粒分含有率）を確認した。

論文内容を確認中、次のような意見が出された。

- 以外に論文が少ないように思われる。90年代にRobertsonや時松先生、若松先生などによる研究をベースに現在の考え方が成立している。
- 液状化判定において、Seed以外の方法で何らかのアプローチがあるのか。最新の情報を紹介するというのはどうか。
- 相対密度から液状化判定する方法はないか。
 →三村先生が提案されている。
 石原先生・塚本先生は、先端抵抗から相対密度の推定を提案している。
- 同一著者グループの論文はまとめてはどうか。

上記意見を踏まえて、次のようにとりまとめ方針を修正した。

- 2004年以前の論文リストも用いて液状化に関する論文を抽出する。
- 『液状化判定』というテーマに絞り、論文内容を整理していく。
- 同一著者グループによる類似論文内容は著者でソートできるようにする。
- 次回WGではAbstractを提出する必要はないが、フォーマット統一後ただちに提出できるように準備しておく。まずは、本文のAbstractをコピー&ペーストでよい。ただし、Abstractがないものは後でよい。

- 次回の予定

・平成25年度第3回WGの開催

日時：平成25年7月30日（火） 10:00～12:00

場所：地盤工学会3F中会議室

内容：論文リストの確認

論文内容の確認